



## ナイスミドルの星に乾杯！



この写真は、南半球の夜空で地球から遠く離れているのはトビー・ジョッキ星雲とって、この新しい写真にたいへんくわしく写っています。薄い色のガスの雲は、太陽の質量の5倍の重さのバカでっかい赤色巨星を囲んでいます。中央の星からの明るい光はガスに反射して、輝く原因になっています。この星雲の名前は、2人の英国人天文学者によってつけられました。ガスの青白い渦がえがく形が、18世紀にイギリスで流行した持ち手のついたトビー・ジョッキと呼ばれている派手なカップに似ていたからです。

この星雲の中心の星はわたしたちの太陽より何百万年も若いのですが、すでにその一生のずいぶん最後の段階にあります。これは、より巨大な星はそれほど大きくないものより速く自らの命をまっとうするからです。わたしたちの太陽は、ちょうど一生の中程の46億歳ですが、この星は太陽よりずっと多くの質量を持っているので、数100万歳までしか生きることができません。さらに、赤色巨星でいる段階は、この星の短い一生の中で、最後の限られた期間になるので、この画像はかなり珍しい現象といえます。

いずれは、わたしたちの太陽はその中心ですっかりほとんどの水素を燃やしたのち、赤色巨星としてふくらむでしょう。天文学者は、そうなった時、わたしたちの太陽が地球の軌道の外側までふくらむと考えています。それは、私たち太陽系の岩だらけの地球型惑星である水星、金星、地球そしてたぶん火星までも、すべてを太陽がのみ込むということです。

## COOL FACT

太陽が赤色巨星になるまでには、技術はすごいスピードで進化するので、異なる惑星に人間が住むことができるようになっているでしょう。すでに何人かの宇宙飛行士が、国際宇宙ステーション (ISS) に滞在しています。いま宇宙に何人滞っているのか知りたければこちらのかっこいいサイトへアクセスして下さい。 <http://www.howmanypeopleareinspaceightnow.com/>

この宇宙特ダネの記事は、ESOからのプレス・リリースに基づきます。

